

2020年7月7日の経営会議の概要

開催日時	2020年7月7日（火） 午後1時00分 ～ 午後1時40分
開催場所	政策会議室
付議目的	最終案の承認
所管部課	政策経営部企画政策課、経営改革室
案件名称	2021年度市政運営の基本的な考え方について
実施期間	—
法令根拠	—
対象者 （お客様）	各部の職員
案件概要	2021年度は、「まちだ未来づくりプラン」と「町田市5ヵ年計画17-21」の最終年度となる。これまでの取組を踏まえ、目標達成に向け、しっかりと歩みを進める必要がある。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大は、我々基礎自治体の根幹的な役割である公証と対人サービスを、あらゆる事態においても提供し続けることが肝要であると再認識させる機会となった。 現下の市政の状況を踏まえ、きらめく町田、強い町田となるためにはどうすればよいか、職員一人ひとりが自分事として捉え、新たな発想で市民サービスを提供していくことを強く意識するとともに、課題が表面化している今を、新たな社会に向けた変革の時と捉え、行動しなければならない。 以上を踏まえ、「2021年度の市政運営の基本的な考え方」は、次に示す2点を主な内容として策定したい。 ①「施策推進の基本的な考え方」として、市民の生活や市内の経済活動をしっかりと支える施策を最優先するとともに、今実行すべき施策については、真に必要なものを選択する。また、今般の状況下で浮き彫りになった課題に対し、町田の未来につながる新たな一手に、果敢に挑戦する。 ②「行政経営改革の基本的な考え方」として、パンデミックの経験を踏まえ、改めて、市民サービスを安定的に提供するために何が必要であるかを考え、どのような仕組みを作っていくべきか、しっかりとしたビジョンを持ち、あらゆる事態に対応できる効率的かつ強靱な行政経営を行う。

主な意見	○今後、町田市においても、三大都市圏以外と同様に、市民生活を守る経費を自主財源でまかなえず、交付税と起債による財政運営を強いられることになる。予算編成は可能ではあるが、その実質的な財源は、借金であるという危機的な状況を示唆するような表現を追加すること。 ○国を筆頭に行政のデジタル化は、２０年立ち遅れている（１０年ひと昔と考えれば、２周遅れである）と言わざるを得ないということを表現すること。 ○「ナッジ」の解説の２文目について、文章が成り立っていないので、修正すること。
審議結果	提案内容を承認する。
出席者	<委員・幹事> 経営改革室長、広報担当部長、総務部長、財務部長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長 <説明者> 政策経営部長、企画政策課長、企画政策課未来づくり担当課長、経営改革室課長